

問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育む 実践力向上研修（小学校）

【講座のねらい】

「観察、実験を伴う実習による実体験」や講義等を通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方について実感を伴った理解を深め、実践的指導力を高めることで、「問題解決の過程」を踏まえた授業改善を推進する。

【研修後の姿】

問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方について理解を深め、「問題解決の過程」を踏まえた授業を展開することができる教員



野外観察を含む体験的な活動や講義等を通して実践的指導力を身に付けるとともに、実践交流会を通して研修の成果を高めることができます。

【対象】 教諭

【定員】 小24名

【研修日程・内容】

① 1h

9/20

遠隔型研修Ⅰ 「説明・協議」

- 課題の明確化
- STEAM教育との関連性

② 0.5h 9/21～

オンデマンド型 研修

「説明・講義」

- 理科教育の現状と課題
- 授業改善と評価の充実
- 実習のポイント

③ 2日間

(6.5h、6h)

10/5～10/6

集合型研修

「観察、実験等を行う実習」

- 「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」領域の観察、実験
- 実社会での問題発見・解決

10月～12月
職場実践

- 研修の成果を基に自校で行う授業実践

④ 2h

1/29

遠隔型研修Ⅱ 「実践交流」

- 実践成果発表及び交流

講師

①②③④北海道立教育研究所職員、
③酪農学園大学准教授 金本 吉泰 氏

元理科教育センター職員
理科教育における生徒の資質・能力の育成についての研究

